

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会(メールボックス)
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



♪箕面ユネスコ協会の活動を
載せています
『箕面ユネスコ協会』
で検索してください♥

♪日本ユネスコ協会連盟から
毎月、最新情報が掲載されます
『ユネスコ協会便4月号』
で検索してください♥

カザフスタンでの「グローバル・ユースフォーラム」へ



箕面ユネスコ協会から日本のユース代表として参加！

2025年2月にカザフスタンのアルマトイで開催された「第1回グローバル・ユースフォーラム」に、全国的青年連絡組織（民間ユネスコ運動の青年団体）などを通じて選抜された箕面ユネスコ協会の西尾優那さん



んが代表参加しました。このフォーラムは、持続可能な社会の実現に向けた若者によるロードマップ作成と採択などを目的に、UNESCOとWFUCA（世界ユネスコ協会クラブ連盟）が主催した会で、日本ユネスコ協会連盟からは鈴木佑司理事長も参加されています。「AIの倫理」などの講演や若者の能力開発の重要性に関するパネルディスカッションに参加するとともに、自分の住む地域における教育や防災に関するアクションプランを発表し、様々な国の参加者とともに、各国の事例や今後の活動について学びを深めました。帰国後は、箕面市内の小学校で経験をもとに国際理解の授業を行いました。（日本ユネスコ協会連盟の報告より一部引用）

ゆるやかなネットワーク…ぴあぴあ食堂

4月3日、らいとぴあ21（箕面市萱野中央人権文化センター）にて、箕面ユネスコメンバーで春休みのぴあぴあ食堂を行いました。この施設の中には、こどもたちが気軽に来て楽しく過ごすことのできる「ぴあぴあルーム」という場があります。長期の休みには、みんなで、あったかいおいしいご飯を食べることができます。



♪40食 美味しそうに出来上がり

この日のメニューは「とうふハンバーグ・ポテトサラダ・豚汁、そして手作りのガトーショコラです。調理中の香りに誘われて、いつものように子どもたちが『今日のメニューは何？』とお待ちかねの様子。『今日はとうふハンバーグだよ〜』と答えると『ええ〜！バーグつづいとる！』と言いながらもニコニコ顔。配膳の時は「量多い〜食べられへん〜少しとって〜」「そうか…これでいける？…」完全に家庭での家族の会話って感じ。そして、子どもたちの片づけの時の『美味しかったよ〜』の声は嬉しかったです。こどもたちの食事中、萱野小学校の佐藤校長先生が様子をのぞいてくださり、私たちへのご挨拶も頂きました。私たちも一緒に頂きます ♪♪♪

（坂口 一美）

ネパールボランティア&スタディツアーから無事帰国！



ネパールスタディツアーに行ってきました 応援ありがとうございました

2025年3月17日～23日の7日間、高校・大学生4名の参加者とともにネパールに行き無事に帰って参りました。今年も目標を達成することができました為ご報告させていただきます。

ひとつは、クラウドファンディングを通じてご協力いただいた皆様からの大切な支援金を、私たちの受け入



れ村にある小学校の子どもたち一人ひとりにノート600冊および筆記用具を確実にお渡してきたこと、ならびに現地コーディネーター兼孤児院(Jeewam Uttan)の代表であるビマヤさんに寄付金を贈呈させていただいたことです。

もう一つは、本ツアー特有の経験が参加者の日常に深い「非日常」を与えた、と思えることです。たった数日のツアーで驚くほど見地が深まった高校生の代わりぶりには度肝を抜かれる思いです。「貧しくもあたたかくて美しい村の奥地での体験」は、やはり不思議なパワーを感じさせます。

<主なツアーの様子>

- Padmesory school (Laba Gaun 村) に到着（約4時間）後すぐ歓迎のダンス
- 子供たちが十分勉強できる量の本とペンを贈呈
- 小学校にて栄養ワークショップを実施
- 食を介する異文化交流：日本からもってきた材料で餃子、天ぷら、味噌汁を作る

<参加者レポート（抜粋）>



とは思わない。それがなぜかと言うとあの家での生活はたしかに日本と比べて不便だけど、悪いものでは絶対ではないし、あの生活を送ることが不幸だとは思わないからだ。」「人はどんな環境にあっても学ぶ事で成長し、自分の人生を自分で形作ることができるのだと思いました。今回私たちは村にノートと鉛筆を寄付しましたが、少なくとも無駄な事ではないと思っています。（省略）私自身も今回のスタディツアーに参加することで、今までぼんやりしていた発展途上国の人々というものに自分の経験を元にした視点を持つことができるようになりました。」等々。

最初は「海外がはじめて」「将来の参考になるかな」「就活に役立ちそう」という単純な言葉でしか語らなかった高校生が、自分の目で見て感じたことをこれほどにまで深い思考に落とし込むことができていることに毎年感動させられます。

（山田 祐加）

‘ユネスコ世界寺子屋運動’へのご協力 ありがとうございました



箕面市立東小学校5年生のみなさん



箕面市立北小学校5年生のみなさん



箕面市立彩都の丘学園5年生のみなさん

3校のみなさんの協力を得て、今年もたくさんの書き損じハガキなどを日本ユネスコ協会連盟に送ることができました（書き損じハガキ合計 769 枚・未使用切手 18282 円分・カード・募金等）。年度末には、日本ユネスコ協会連盟および大阪府ユネスコ連絡協議会からの感謝状をお渡しし、24 年度の寺子屋の状況（カンボジア・ネパール・ミャンマー・アフガニスタン）をお伝えしました。1 年間の学びを通して、「世界にはいろいろな暮らし方をしている子どもたちがいることが分かった」「力を合わせて行動できたことがよかった」「これからも世界のことについて考えていきたい」などの感想を語ってくれた子どもたち。6 年生でも自分の世界をどんどん広げてください。

● 箕面市立東小学校 5 年生のみなさんと



3 月、大学生の西尾さんが、ネパール奥地でのボランティアツアーと「グローバルユースフォーラム（GYF）」での経験をお話ししました。

GYF は、UNESCO と WFUCA（世界ユネスコ協会連盟）が主催するフォーラムで、西尾さんは、日本代表として、2 月にカザフスタンで行われた会合に参加しました。49

か国からのユース代表者が教育や防災などさまざまなテーマに沿って話し合う中で、たくさんの友人を得ることができたそうです。「どんなことでもいい、自分がやってみたいと思うことには失敗を恐れずどんどんチャレンジしてくださいね…」。

世界で活動する若い世代からの言葉は、子どもたちの心を強く動かしてくれたことと思います。（大濱 淳子）



♪GYF でのようすより

● 箕面市立西南小学校3年生のみなさんと

2月19日（水）

西南小学校 3 年生

の「地域学習」として西南デイサービスセンター「あそびりクラブ」さんとの交流会に参加しました。あそびりクラブの職員の方から日々の活動のようす聞いた後、子どもたちの質問に答えていただき、「やっていて楽しいことは？」「どんなことをしていますか？」「お給料は？」「一番高齢の人は？」など子どもたちの聞きたいことは途切れません。「毎日楽しく高齢者の方やスタッフの方と過ごしている間に長〜

く働き続けています。皆さんが生まれる前からかな？」スタッフの方のこの言葉は子どもたちの心に残ったようでした。その日の放課後、早速デイサービスに下校後の子どもたちが何人か訪れたようです。西南小学校の周りには、中学校・保育園・幼稚園・生涯学習センター、そして小学校の敷地内に隣接して「あそびりクラブ」があります。中学校や保育所などとの交流も進めているそうです。多世代の交流が進めやすい環境を強みに、コロナの影響で途切れがちになった「地域の子どもは地域で育てる！」のつながりの再構築に期待したい出会いになりました。（笹川 実千代）



●「絆つながる 応援マルシェ」を開催しました



3月9日に みのお市民活動センター玄関前で、災害の復興支援と防災の啓発を目的としたイベントを開催しました。

箕面ユネスコ協会からは被災地支援物産展や被災地関連の手作り工芸品販売、アサンプション国際中学校高等学校からはチャリティーコンサートと能登半島地震への募金活動をメインに、大阪青山大学考案の「避難所で元気になる運動」の体験やアルファ化米のデモンストレーションと盛りだくさんのイベントになりました。

東日本大震災直後から箕面ユネスコ協会と市民活動センターの管理運営団体である「市民活動フォーラムみのお」は連携して被災地支援の活動を展開しています。

まだまだ寒さの続く3月だったので、箕面ユネスコ協会の被災地物産展では豚汁を販売。昼時にはアルファ化米とセットであったという間に完売し大好評でした。

今回の募金先は、「暮らしづくりネットワーク北芝」と一緒に支援活動しているNPO 法人 YNF。全国で災害支援活動をされていて、熊本地震の際に被災地のボランティア活動と一緒に活動した団体です。

今回はボランティアとして関わった学生さんが、箕面ユネスコ協会のネパールスタディーツアーを希望してメンバーに加わるなど、まさに「絆つながる応援マルシェ」になりました。（須貝 昭子）

●「U-Smile 活動報告」2025年春の体験旅行 in 沖縄

子どもたちの春休みを豊かにすることを目的にした福岡体験旅行に行きました！

3月27日から2泊3日で、日本ユネスコ協会連盟が展開するU-Smileプログラムを実施している各地のユネスコ協会・クラブ等が支援対象としている子どもたち（含む引率者）8地域（前橋、蓮田、東京、箕面、真庭、宇部、高松、高知）が参加して、沖縄への体験旅行に出かけました。箕面からは中学生、高校生6名、引率の丸岡 朋樹さんと坂口で参加しました。



旅行の目的は、春休みの思い出として思い切り楽しみながら、



視野を広げること。様々な大人との出会いを通して、子どもたち自身が将来の夢や希望を思い描く力を培う。主体的に社会学習に向き合い、学校での学習につながる体験、将来の進路選択の幅を広げるような体験をする。遠隔地への団体旅行、団体行動の中での自律と協力を学ぶ。共に宿泊し、望ましい生活習慣を学ぶ。沖縄の文化・風土・気候が本州と異なることや、太平洋戦争では県民を巻き込んだ地上戦が行われた場所であり、平和に対する気づきを得る。



沖縄美ら海水族館、海洋博公園 首里城、MRO Japan 機体整備工場見学ツアー、箕面メンバーはビーチクリーニングや海ぶどうの養殖場見学等も行いました。

宿泊した沖縄国際ユースホステルでは、子どもたちの交流や引率した大人の繋がるミーティングが行われ大変有意義なものとなりました。

（坂口 一美）